



ロト溪谷とサンシルラポピー
2010年9月13日 市川 康夫 撮影

地理空間学会ニュースレター

TOPICS

- ・第8回例会のお知らせ
- ・第9回例会のお知らせ
- ・第7回例会の報告
- ・第4回大会のご案内(第1報)
- ・学会賞受賞者コメント
- ・リレーコラム「わがまち速報」
- ・寄贈図書情報
- ・学会からのお知らせ

JAGS

第8回例会のお知らせ

地理空間学会では、第8回例会を下記の通り開催いたします。

- ◇ 日時:2011年1月24日(月)16:40~
- ◇ 会場:筑波大学 筑波キャンパス 総合研究棟A110 公開講義室
- ◇ 発表者および演題:横山 智(名古屋大)
「東南アジア大陸部の統計未整備地域におけるフィールドワーク調査」
- ◇ 交通:つくばエクスプレス線「つくば駅」下車、6番バス乗り場「筑波大学循環」または「筑波大学中央行き」で約10分「筑波大学中央」下車。

- ※ 例会の参加申し込みは不要です。ご不明な点は、学会事務局までお問い合わせください。
- ※ 自家用車でお越しの際は、本部棟1階警備室で駐車を申請して下さい。
- ※ 終了後、懇親会を予定しております。奮ってご参加ください。懇親会の参加は当日受け付けます。
- ※ 本例会は、科学研究費補助金基盤研究A「フィールドワーク方法論の体系化—データの取得・管理・分析・流通に関する研究—」(研究代表者:村山祐司)講演会との共催です。

第9回例会のお知らせ

地理空間学会では、第9回例会を下記の通り開催致します。

- ◇ 日時:2011年2月23日(水)16:45~
- ◇ 会場:筑波大学 筑波キャンパス 総合研究棟A110 公開講義室
- ◇ 発表者および演題:池谷和信(国立民族学博物館・総合

研究大学院大学)

「地球をフィールドワークする—21世紀における人と動物との関わり方—」

- ◇ 交通:つくばエクスプレス線「つくば駅」下車、6番バス乗り場「筑波大学循環」または「筑波大学中央行き」で約10

- 分「筑波大学中央」下車。
- ※ 例会の参加申し込みは不要です。ご不明な点は、学会事務局までお問い合わせください。
 - ※ 自家用車でお越しの際は、本部棟1階警備室で駐車を申請して下さい。
 - ※ 終了後、懇親会を予定しております。奮ってご参加ください。

さい。懇親会の参加は当日受け付けます。

- ※ 本例会は、科学研究費補助金基盤研究A「フィールドワーク方法論の体系化—データの取得・管理・分析・流通に関する研究—」(研究代表者:村山祐司)講演会との共催です。

第7回例会の報告

2010年10月28日(木)に、筑波大学 筑波キャンパスにおいて、第7回例会が開催されました。
堤 純(愛媛大):「外国でのフィールドワークにおけるIT利活用

の事例」

41名の参加があり、活発な議論がなされました。第7回例会の要旨は、「地理空間」の第3巻2号に掲載致します。

第4回大会のご案内 (第1報)

地理空間学会では、第4回大会を下記の通り開催致します。

1. 日程

2011年6月18日(土):評議員会, 研究発表, 総会,
懇親会
6月19日(日):巡検

2. 会場

筑波大学筑波キャンパス

3. 交通

つくばエクスプレス線「つくば駅」下車、6番バス乗り場「筑波大学循環」または「筑波大学中央行き」で約10分「筑波大学中央」下車。

4. 費用

大会参加費 一般会員・非会員:1,000円
大学院生会員:500円, 学生会員:無料

学会賞受賞コメント

地理空間学会 2009年度(第1回)学会賞の学術賞を受賞さ

れた渡辺理絵先生から受賞のコメントをいただきました。

地理空間学会賞・学術賞 渡辺 理絵 (山形大)

このたびは、拙著『近世武家地の住民と屋敷管理』(大阪大学出版会)に対して、学会賞(学術賞)という光栄な賞を頂戴し、誠にありがとうございました。

拙著は、博士論文の内容を加筆修正したものです。博士課程での毎日は、今振り返りますと、学問と研究に邁進しながらも、一方で年齢を重ねていくことや女性ということが自分にとってマ

イナス要素にしか思えず、自分の立ち位置を見失いそうになりながら右往左往した日々でした。そんな中、博士論文を書き終えることができたのは、公私両面において支えてくれた先生、学兄そして家族の存在があったからにほかなりません。

拙著は江戸時代の都市に生きた人々の住空間の利用に着目した内容です。米沢で調査した平均的な屋敷面積は、355

坪です。農家ではなく、都市の中心にある屋敷にしては、非常に広大です。しかし、敷地面積に比べて家屋は狭小で、建坪50坪以下も少なくありません。屋敷内の大半は、いわゆる庭となっており、住民は公務をこなしながら、一方で蔬菜耕作を行っていました。大根、なす、胡瓜、ジャガイモ、栗や柿と季節に合わせて種類豊富に栽培し、秋が過ぎた頃に越冬に備えます。雪は単なる気象現象ではなく、保存食をつくる格好の冷蔵庫(冷凍庫)でした。さらに、軒下や台下の池には鯉が泳いでおり、ハレの日に、また子どもや妊婦に栄養を与えてあげたい時に食

します。普段、鯉の餌は住民の残飯でした。

今、私は農学部に所属しております。そこでは「地産地消」と「循環型社会」という言葉がキーワードとなっているように思えます。江戸時代の米沢では、「家」というマイクロスケールの空間の中に、これらの概念が具現化されていることを本学部に着任してから再認識しています。

このたびの受賞を大きな糧として、これからも人々の生活に光をあてるような研究をしていこうと思います。

リレーコラム「わがまち速報」

#1 仁平 尊明(北海道大)



札幌市時計台 (2010年12月4日撮影)

北緯43度に位置する札幌は、日本最北端の政令指定都市です。2005年の人口は188万だったので、北海道民の3分の1が札幌市民ということになります。豪雪地帯(累積降雪量の平均6メートル)にこれほどの大都市があるのは、世界でも他に例がないでしょう。札幌は日本でも有数の観光都市でもあります。最近では海外からの観光客が増え、駅前デパートには中国語の横断幕も下がっています。中心部だけでも、雪祭りで見られる大通公園や、繁華街のすすきのをはじめ、旧北海道庁舎、ビール園、北



大植物園、時計台など、札幌ならではの名所があります。

写真は12月上旬の時計台です。市街地の中心(中央区北1条西2丁目)にある時計台は、オフィスビルや市役所などの高層建築に囲まれ、小さく見えてしまうことから、「日本三大がっかり名所」と不名誉に呼ばれることもあります。しかし、歴史的建造物を見慣れた人なら、時計台の素晴らしさが分かるでしょう。1878(明治11)年に札幌農学校の演武場(屋内体育館)として建設された時計台は、当時の建物としては奥行きのある堂々としたものです。尖塔の高さは20メートルあり、5階建てのビルに相当します。1903(明治36)年に札幌農学校が第一農場(現在の北海道大学がある場所)へ移転すると、時計台は札幌区によって買い上げられ、曳屋(ひきや)によって現在の場所(旧農学校敷地の南端)に移されました。

次回は井口 梓先生から愛媛の「わがまち速報」をご紹介します。

寄贈図書情報

高橋春成編『日本のシシ垣－イノシシ・シカの被害から田畑を守ってきた文化遺産』古今書院, 2010年12月刊, 366p., 5,500円(税別)

古今書院より、地理空間学会へ著書を寄贈いただきました。この著書には、地理空間学会賞・特別賞を授与された矢ヶ崎孝雄先生も執筆されています。

この著書の書評は、「地理空間」第4巻1号に掲載を予定しております。

主な目次と執筆者は以下の通りです。

【第1部：先人の遺産「シシ垣」】

1. シシ垣の分布と構造(矢ヶ崎孝雄)
2. 猪鹿垣遺構を残し伝えるために－香川県小豆島をめぐる猪鹿垣群の踏査と実測の記録(巷 誠吾)
3. 農民の苦闘を語る砦－三重県紀伊長島の猪垣(中野朝生)
4. 亜熱帯の森に眠る猪垣－沖縄県西表島の猪垣の配置形態と構造(蛸原一平)
5. 近江に築造されたシシ垣－滋賀県高島市の遺構(白井忠雄・石庭孫義)
6. 安芸のシシ垣と地域の歴史(佐竹 昭)

コラム1. 世界遺産「熊野古道」を取り巻くシシ垣群(高橋春成)

【第2部：シシ垣の保存と活用】

7. 滋賀県比良山地山麓の土石流災害対策を兼ねたシシ垣とその保存(高橋春成)
8. 岐阜県根尾谷のシシ垣と活断層調査における活用(金田平太郎)
9. 群馬県の猪土手－チーム「ししどって」の調査から(姉崎智子)
10. 沖縄県奥集落の猪垣保存活動(宮城邦昌)
11. 福井県奥越地方のシシ垣遺構探しとエコツアー(北川博正)
12. 伊吹山の峠に残るシシ垣の保存活動(谷口隆一・高橋順之・高橋春成)

コラム2. 里山イベントにシシ垣を活用(三浦美香)

【第3部：シシ垣を調べる】

13. シシ垣に類似する自然地形(金田平太郎)
 14. 発掘調査からみたシシ垣(越智淳平)
- コラム3. 東京都西多摩地方に残る猪垣跡(角田清美)

【第4部：現代のシシ垣】

15. 島根県の広域防護柵とその効果(金森弘樹)
16. 住民の合意形成によって被害防止柵をつくる－現代版のシシ垣づくりにむけて(寺本憲之)

コラム4. 大阪大都市圏に増えている被害防止柵(石井 亘)

学会からのお知らせ

＜会計委員会からのお知らせ＞

1. 会費納入のお願い

2010年度年会費をまだお支払いでない方は、「地理空間」第3巻1号に同封しました振込用紙でお支払い下さい。

会員の皆様のご協力により、多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、まだ若干名、過年度の会費納入がお済み

でない方もいらっしゃいます。過年度分未納の方は、**2011年1月20日(木)**までにお支払下さい。納付したかどうか不明な方や振込用紙を希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

また、大学を通じて電子振込みなどをされる場合には、必ず氏名とご所属先の明記をお願い致します。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込(ゆうちょ銀行の振込用紙を使用)

口座記号:00120-5

口座番号:779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番:019

店名:〇一九店(セ)ロイチキュウテン)

預金種目:当座

口座番号:0779957

受取人名:チリクウカンカ"ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000 円

大学院生会費 3,000 円, 学生会費 2,000 円

の研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象:本学会の活動理念を理解し,本寄付の趣旨にご賛
同いただける方。

ご依頼額:1口2万円(何口でも可能です)

お問い合わせ先:地理空間学会事務局

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込(ゆうちょ銀行の振込用紙を使用)

口座記号:00150-3

口座番号:707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番:019

店名:〇一九店(セ)ロイチキュウテン)

預金種目:当座

口座番号:0707452

受取人名:チリクウカンカ"ツカイクシ"ユツキキン

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について,会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

[地理空間学会学術基金の内容]

名称:地理空間学会学術基金

目的:地理学の優れた研究者を育成することを目的として,そ

※ 基金への寄付をしていただいた方のお名前は,機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は,「匿名希望」とご記入下さい。

<編集委員会からのお知らせ>

1. 「地理空間」第3巻2号発行のお知らせ

「地理空間」第3巻2号は,編集作業の都合により,通常日程よりほぼ一カ月遅れた2011年1月21日(金)の発行を予定しております。会員の皆様への元へは,2011年1月24日(月)前後にお届け致します。会員の皆さまへはご迷惑をおかけすることと存じますが,なにとぞご容赦いただきたく,お願い申し上げます。

2. 次号以降の投稿について

第4巻1号は,2011年6月20日の発行を予定しております。

第4巻2号の原稿については2011年8月末まで,それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。内容は最新の論争から時事性,トピック性の高いテーマ,丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

3. 「地理空間」定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため,会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場

合には、学会事務局までお知らせ下さい。

4. 「地理空間」掲載論文のリポジリー等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジリーや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までお知らせください。

＜学会賞選考委員会からのお知らせ＞

この度、地理空間学会 2010 年度(第2回)学会賞の受賞候補者の推薦を募集いたします。内容は、以下の通りとなっております。会員の皆様の積極的なご推薦(他薦または自薦)をお願いいたします。

■ 「地理空間学会賞」の種類について

- (1) 奨励賞: 満 40 歳未満の会員で顕著な研究業績を公刊し、今後の一層の発展が期待される会員に授与する。
- (2) 学術賞: 特に顕著な研究業績を公刊した会員に授与する。
- (3) 特別賞: 地理学の水準向上および普及・啓発に特に顕著な功績のあった会員に授与する。

■ 受賞の条件について

「2011 年度地理空間学会賞」の奨励賞および学術賞は、2008 年1月1日～2010 年 12 月 31 日の3年間に刊行された研究業績が対象となります。

■ 推薦書類の形式

形式: 件名に「学会賞(種類を明記)候補者推薦書」と明記し、以下の各項目を記入してください。なお、学会ホームページに「推薦書フォーム」を掲載していますのでご利用ください。

(ア) 推薦者(会員に限る)の氏名・所属・連絡先(住所・

電話番号・電子メールアドレス)

(イ) 受賞対象となる研究業績

【論文】著者名・論文題目・掲載誌名・巻・号・掲載ページ・刊行年月

【図書】著者名・書名・出版者名・総ページ・刊行年月

(ウ) 受賞候補者の氏名・所属・連絡先(住所・電話・電子メールアドレス)・出生年月

(エ) 推薦理由(200 字程度)

■ 推薦書類の提出先(電子メールでの推薦も可)

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局「学会賞選考委員会」

E-mail: geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

※ 電子メールの場合は、件名に「学会賞(種類を明記)候補者推薦書」と明記して下さい。

■ 推薦の締切 2011 年2月 15 日(火)

2011 年6月 18 日(土)開催の大会の総会で、受賞者を表彰します。

会員の皆様のご推薦、よろしくお願ひいたします。

編集後記

地理空間学会ニューズレター第9号をお届けします。新連載「わがまち速報」がスタートしましたがいかがでしたか。この連載は、会員の皆さまが住むまちの「いま」をリレー形式で紹介していただくものです。

お知らせの通り、地理空間学会の第8回例会、第9回例会および第4回大会を筑波大学筑波キャンパスで開

催いたします。皆さまどうぞ奮ってご参加下さい。

ニュースレターでは学会関連情報を掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら事務局までお寄せ下さい。最新の情報は学会ホームページで随時更新しております。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト (jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp) を開設しております。すでに多くの方に参加していただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方はぜひご参加下さい。また、最新情報は学会ホームページに掲載しておりますので、合わせてご覧下さい。

早いもので2010年も残すところあと4日となりました。会員の皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。そして、来年も地理空間学会をよろしく願い申し上げます。

<表紙写真解説>

この写真は、私のフィールドにほど近いフランス南西部のミディ・ピレネー地域に位置するサンシルラポビーという村です。ロト溪谷の断崖に造られたこの小さな村は、「フランスの最も美しい村」への制定をきっかけに観光地化が進み、僻地でありながら多くの観光客を集めています。

<サンシルラポビー村>

人口：200程度

標高：120m~389m

筑波大・院生 市川康夫

